



令和3年度

ほけんだより



看護部 担当：井澤

今月の目標:薄着に慣れる

こどもは意外と寒さに強いものです。冬に向け抵抗力をつけ、丈夫な皮膚をつくっていくためにも、今から薄着を心がけていきませんか。

涼しい秋風に、
高く澄んだ空。
大きく深呼吸したくなるような、
気持ちの良い季節になりましたね。

～ご挨拶～

看護部を立ち上げ半年が過ぎようとしています。各園に看護師を配置し、登園時の健康チェック、ご家族様に代わりくりにつく受診をして病児保育室へ入室、など新しい取り組みに、日々ご理解・ご協力頂きありがとうございます。私たちは、子供たちと家庭に最も身近な看護職として、保育園、くりにつく、病児保育室と連携を図り、お子さまの成長と、健康、安全をお守りしたいと考えております。これからも皆様に寄り添い看護部一同頑張っています。

看護師長 鈴木



お知らせとお願い

発熱や風邪症状があり、やまゆりファミリーくりにつくを受診した時は、状況によりPCR検査を受けていただくことがあります。これは、万が一陽性だった場合を考え、保育園や病児室でクラスターを発生させないためです。ご存じのように、PCR検査はすぐには結果が出ませんので、検査を受けられてから結果が出るまでは、自宅待機となります。お仕事の都合でお休みが難しい方もおられると思いますが、ご理解ご協力をいただけますようお願い致します。

保育中に体調不良となってもすぐに保護者の方がお迎えに来られない場合は、看護師による付添い受診をし、コロナ抗原検査で陰性を確認の上、病児保育室へ入室していただきます。

PCR検査を午前診で受けられた場合、当日夜間には結果が出ます。陰性であれば、解熱していなくても翌日の病児室の利用は可能です。午後診での検査の場合は、結果が届くのが翌日の昼～14時頃になります。

また、お子さまが無症状であっても、ご家族に発熱や風邪症状がある時やPCR検査を受けられることになった時は、登園を控えるようお願い致します。

10月10日は の愛護デーです

視力は3歳までに急激に発達し、6～8歳の時期に完成します。この時期に何らかの異常が生じて正常に発達できないと、見る機能に悪影響が出てしまいます。3～4歳までに異常を発見し治療を継続することができれば、小学校入学までにはほとんどが学校生活で問題ない程度の視力に回復できます。

しかし、異常に気づかないまま6～8歳を過ぎてしまうと、治療を始めても思うように効果が得られず、手遅れになってしまうこともあります。ですから、3歳児健診の視覚検査はとても大切なのです。

こんな行動がみられたら要注意

- 目を細めたり、しかめたりする
- 頭を傾けたり、横目で物を見る
- 極端に物に近づいて見る
- 必要以上にまぶしがる



気になる行動がみられたり、3歳児健診でうまく検査できなかったお子さまには検査をお勧めします。

やまゆりファミリーくりにつくでは、生後6ヶ月以降のお子さまであれば、専用の機器で簡単に短時間で検査が可能です。



